

若手/女性農業者によるグループ化 およびグループ活動促進に向けての 方策調査研究

令和8年2月18日
跡見学園女子大学

赤間珠希

辻本弥音

戸ヶ崎愛香

樋口由菜

目次

- ・ 3か年のテーマ

- ・ 今年度の取り組み

- ・ 次年度の活動目標

3か年のテーマ

☆全体テーマ

『若手／女性農業者のグループ化と
活動促進のための方策調査』

本年度のテーマ 『グループ化と活動の促進
』

今年度の取り組み

令和7年	8月	<u>盛岡訪問:①ヒアリング調査</u>
	9月	中間報告会
	9月～12月	イベントに向けての準備
令和8年	1月～2月	<u>盛岡訪問:②イベント実施</u> <u>(もりおか短角牛おでん)</u>

①ヒアリング調査

☆調査対象

令和7年 8月6日～7日

現地にてヒアリング調査を実施

短角牛繁殖農家(若手2名)、黒毛和牛繁殖農家(女性2名)のもとで
お話を伺った

☆調査事項

1. 農業者グループの現状と課題
2. 道の駅もりおか渋民「たみっと」でのイベント実施

道の駅 もりおか渋民「たみっと」にて若手短角農業者 2名にヒアリングを実施

☆ヒアリング結果

- ・農家の軒数が減ることへの不安がある
- ・人数が少ないと短角牛のブランドを維持することが難しいため、グループ化には賛成
- ・短角牛を活かしたイベント
ケバブ、おでん、肉巻きおにぎり…



☆グループへの要望

- ・エリアを越えてつながっていききたい(ブランド力向上の為)
- ・市域で交流会の開催
- ・小人数で自由に動けるグループが理想(5人程度)
- ・イベントへの参加も前向きに検討したい



小規模のグループをつくることで気軽に協力し合える！

盛岡市内にて女性2名(+男性2名)の黒毛和牛農家さんにヒアリングを実施

☆男塾女性部「Cow♡カウ女子クラブ」

- ・令和6年度に発足
- ・繁殖農家の奥さん 6名
- ・活動頻度は1年で3回程
- ・分娩介助講習、見学訪問など(個人的に)

- 参考) 玉山和牛繁殖研究会「男塾」
- ・畜産技術の向上や経営の安定を図る
 - ・20名程度
 - ・研修会等の企画、運営
 - ・リーダーは獣医師免許を所持

☆ヒアリング結果

- リーダー(男性)を介せずに女性部で連携を取れるようになることが理想
- 経営面を任されることが多いので勉強をしたい
- 旦那さんが不在の時に出産が始まって、介助が必要になることがあるので知識を身に付けておきたい



☆グループ活動への期待

☆グループ活動への期待

- ・活動頻度を増やしたい
(餌、病気、お産、経営についての勉強会を実施したい)
- ・問題が発生した際に、すぐアドバイスが聞けるシステムづくり
- ・女性部内での連絡手段の確立
- ・交流会の開催

同じ境遇や悩みを抱えるメンバーで集まって雑談するだけでもリ

フレッシュできる！

自由に動けるようになることが理想！！

②イベント実施(もりおか短角牛おでん)

☆もりおか短角牛とは

- ・和牛には黒毛和種、褐毛和種、無角和種、そして日本短角種の4種類があり、この日本短角種は和牛全体の1%にも満たない希少な肉専用種で、主に岩手県をはじめ北東北や北海道で飼育
- ・もりおか短角牛は、日本短角種のうち盛岡生まれ盛岡育ちで、かつ、飼料などブランド基準の8つを満たすことが条件
- ・もりおか短角牛の年間出荷頭数は10~30頭程度と極めて少なく、希少価値の非常に高い和牛(令和6年度の全和牛の出荷頭数 112万頭)

→まだあまり知られておらず、市民でも正しく認識している人は少ない実情

②イベント実施(もりおか短角牛おでん)

☆おでんを選んだ理由

- (1)短角牛繁殖農家さんのアイデア
6月に実施したヒアリングの中で、なにか新しいことをと考えた際、農家さんから出されたアイデアの1つ
- (2)盛岡にはご当地おでんがない
青森おでんや仙台おでんのように東北をはじめ全国には各地にご当地おでんがあるが、盛岡にはない
- (3)盛岡市民は意外と牛肉を食べない
前沢牛など有名なブランド牛がいるにも関わらず、盛岡市民の牛肉消費量はかなり少ない。短角牛の普及のためにも市民の消費量を増やしていくことが必要、かつ新メニュー開発により話題性にも期待

☆おでんを選んだ理由

総務省「家計調査」

都道府県庁所在市及び政令指定都市 牛肉消費量 (52都市のランキング)

順位	政令指定都市 (52市町村)	金額	順位	政令指定都市 (52市町村)	数量:g
	全国	21,709		全国	5,861
1位	堺市	36,465	1位	堺市	8,732
...			...		
52位	盛岡市	10,622	50位	盛岡市	3,360

- ・盛岡市民の日常生活のなかで牛肉を消費する食習慣が低い
→新たなメニュー開発に成功すれば高いニュースバリュー
が期待される

☆イベント概要

令和8年1月31日(土)～2月2日(月)訪問

1月31日(土) イベント会場設営・準備

2月1日(日) イベント開催

〈場所〉 道の駅 もりおか渋民たみっと
C棟フューチャーセンター

〈時間〉 11時～15時

〈販売価格〉 500円 ※限定50食で販売

〈スタッフ〉 農家さん4名 * 跡見生4名

玉山のいいとこギュギュッと!
もりおか短角牛おでん
～うまかんすよ!～

限定
50食!

おでん

2026.2.1日

11:00-15:00
*なくなり次第終了

道の駅 もりおか渋民 たみっと
C棟フューチャーセンター

玉山の農家が本気で作った
こだわりのおでん
できました!
"短角牛だし"と
地元産の具材にこだわった
盛岡の新感覚贅沢おでん
おあげってくなんせ♪

〈具材〉
・もりおか短角牛 150g、5種類の
盛り合わせを予定しています!

¥500(税込)



文京区学生と創るアグリノベーション事業
盛岡市役所 産業振興課 担当: 畜産林業係 019-683-3853
跡見学園女子大学/もりおか短角牛おでん研究会

☆イベント内容



〈具材〉

- ・もりおか短角牛 角煮
- ・雁喰豆 豆腐
- ・じゃがいも
- ・たまご
- ・大根
- ・昆布

〈こだわり〉

- ・もりおか短角牛を使った出汁
- ・具材にももりおか短角牛の角煮
- ・10数年前に製造休止していた雁喰豆豆腐を復活

☆イベント内容

各テーブルに資料を設置

もりおか短角牛の説明

01

希少価値の高さ

「知る人ぞ知る」
地元ブランド牛！

もりおか短角牛は、日本短角種のうち盛岡で生まれ盛岡で育った牛であると共にもりおか短角牛ブランド基準の8つの項目を満たす牛を指します。日本短角種とは、和牛全体の1%にも満たない希少な肉専用種で、おもに北東北と北海道で飼育されています。もりおか短角牛の年間出荷頭数は、毎年少なく、希少価値が高いで有名です。まさに「知る人ぞ知る」地元の人気ブランド牛です。



02

珍しい飼育方法

圧倒的大自然の中で育つ
ストレスフリーな環境！

もりおか短角牛は、広大な山の上のスペースで一定期間放牧されるなど、自然豊かな環境下でのびのびと飼育されています。夏の期間は、東京ドーム55個分相当の広大なスペースを自由に動き回ることができ、ストレスフリーに過ごすことができます。また、数少ない希少な牛であることから、農家の方から沢山の愛情を注がれ一頭一頭大切に育てられています。



03

抜群の食べ応え

赤身中心であっさりとした
肉本来の旨みが味わえる！

もりおか短角牛は、赤身が多く噛めば噛むほど肉本来の旨味や香りが感じられ、肉そのものの味を堪能することができます。料理法も豊富で、ステーキや焼肉、すき焼きなど様々な料理で味の変化を味わえます。また、黒毛和牛と比較すると、脂肪分が少なくタンパク質やイノシン酸・グルタミン酸の成分が豊富で健康志向の方や幅広い年代の方にもお楽しみいただけます。



もりおか短角牛おでんについて

もりおか 短角牛おでん



もりおか短角牛おでんとは、盛岡が誇る希少な「もりおか短角牛」を贅沢に使った旨味たっぷりの新感覚おでんです。短角牛のコクが出汁に溶け込み、最後の一口まで美味しいこだわりの一杯です。短角牛から抽出した「出汁」と「地元産の食材」をふんだんに使用した絶品です。玉山地域の畜産農家が丹精込めて作り上げた新感覚贅沢おでんをぜひ堪能してみてください。

もりおか短角牛おでんのこだわり

- ① こだわり抜いた地元食材
・盛岡産の食材を揃え、イチからメニュー開発
→もりおか短角牛や雁喉豆腐など珍しい食材を食べるチャンス！
- ② 今回限りの特別価格で販売
・驚きの価格500円で提供
→価格を抑えながらも高品質な食品を販売！

ご協力いただいた皆さんの紹介

- 【企画】玉山地域畜産農家様×跡見学園女子大学
【食材協力】合同ファーム中村様
株式会社岩手ファーム様
玉山地域農家様／新岩手農協様
【調理】牛麩処 タンカクメン様
【場所提供】道の駅 もりおか浜民様



☆イベント内容

イベントの様子



☆イベント実施成果

①50食 完売達成(13時頃) 最終的には予備5食も完売

②来場者アンケート結果(回答者数 41名)

〈主な感想〉

- ・もりおか短角牛のことをより知ることができた
- ・今回のイベントをきっかけにもりおか短角牛の存在を知った
- ・がんくいまめを初めて知った
- ・がんくいまめ豆腐が美味しい
- ・名物になってほしい
- ・普及してほしい
- ・また食べたい
- ・冬の名物にぴったりだと思う

〈ご意見〉

- ・冬季限定で継続的に販売してはどうか
- ・出汁にもりおか短角牛らしさをもっと入れてほしい
- ・もう少し価格を上げて良いのでは
- ・おでんの提供数をもっと増やしてほしい
- ・名物になればもりおか短角牛を広められて良いと思う
- ・定期イベント化したら面白そう

〈もりおか短角牛の認知度〉

良く知っていた	13人
なんとなく知っていた	8人
名前や存在は聞いたことがあった	10人
あまり知らなかった	7人
全く知らなかった	3人

☆イベント実施成果

③農家さん 4名へのヒアリング結果

- ・玉山でやっていなかった活動ができて嬉しかった
今後の活動への第一歩になると感じた
- ・予想以上の集客だったため
今後は段取りの対策が必要だと感じた
- ・おでん以外だったら短角牛の丸焼きなどもいいと思う
今回のようにお客さんを集めても生産者内でのイベントでも○

③農家さん 4名へのヒアリング結果

- もし今後メンバーを増やすとしたら、元々付き合いがある人に声をかけて活動人数を増やしていくことが現実的
- 生産者同士が牛に関する知識や課題を共有し、各自が持つ生産者ネットワークや農家のつながりを活かす情報共有が必要だと感じた。
- 農家同士が活動している様子を見てもらい、より多くの人にもりおか短角牛を知ってもらうことが大事だと感じた

今後の課題と期待される取り組み

①グループ活動の継続

☆課題

定期的な気軽なミーティングの実施
準備期間を十分に確保したイベントの開催

②もりおか短角牛おでんの継続

☆課題

認知向上のための継続販売

☆期待される取り組み

飲食店との定期的な提携、季節販売(冬1回の販売)

③継続可能なビジネスモデル構築

☆課題

臨時店舗営業の目的の明確化
適正価格・原価率の検討
食材の安定確保体制
無理のない運営体制

〈イベントに参加ご協力いただいた方々〉

短角牛繁殖農家さん

- ・岩崎人志さん
- ・遠藤秀明さん
- ・黒木亮二さん
- ・大森敦さん

食材提供をいただいた方々

- ・合同ファーム中村 様
- ・株式会社 岩手ファーム 様
- ・玉山地域農家 様
- ・新岩手農業協同組合 様

おでん調理にご協力いただいた方

- ・牛麺所 タンカクメン 様

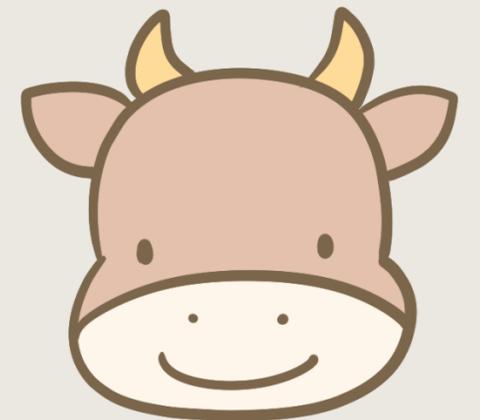
場所の提供

- ・道の駅もりおか渋民 様

その他、大勢の方々から
ご協力いただきました
ありがとうございました

次年度活動目標

- ・たみっと等での継続的なイベントの開催や情報ツールの作成を通し、農家さん同士の交流促進を図る
→持続可能なグループ活動の援助
- ・ネットワーク形成に向けた課題・改善点を整理し、協働体験や情報共有の仕組みづくり
→将来的には自立的に活動できる体制の整備



情報ツール(ファマコレ)の発展

☆ファマコレ(ファーマーズ・コレクション)とは
他の農業者や消費者に向けて市内の農業者を紹介するツールのこと
生産者だけではなく、消費者にも興味を持ってもらえる親しみやすいもの

☆情報ツールの発展

- ・地元の宝として、畜産農業のことを知ってもらう
- ・新たな畜産農業の担い手づくり
- ・子どもが夢を持てる仕事に！
(仮題)「ビーフブリーダーという仕事」(小学校副読本)作成

※ビーフブリーダー 黒毛和牛繁殖農家さんグループ男塾

ご清聴ありがとうございました